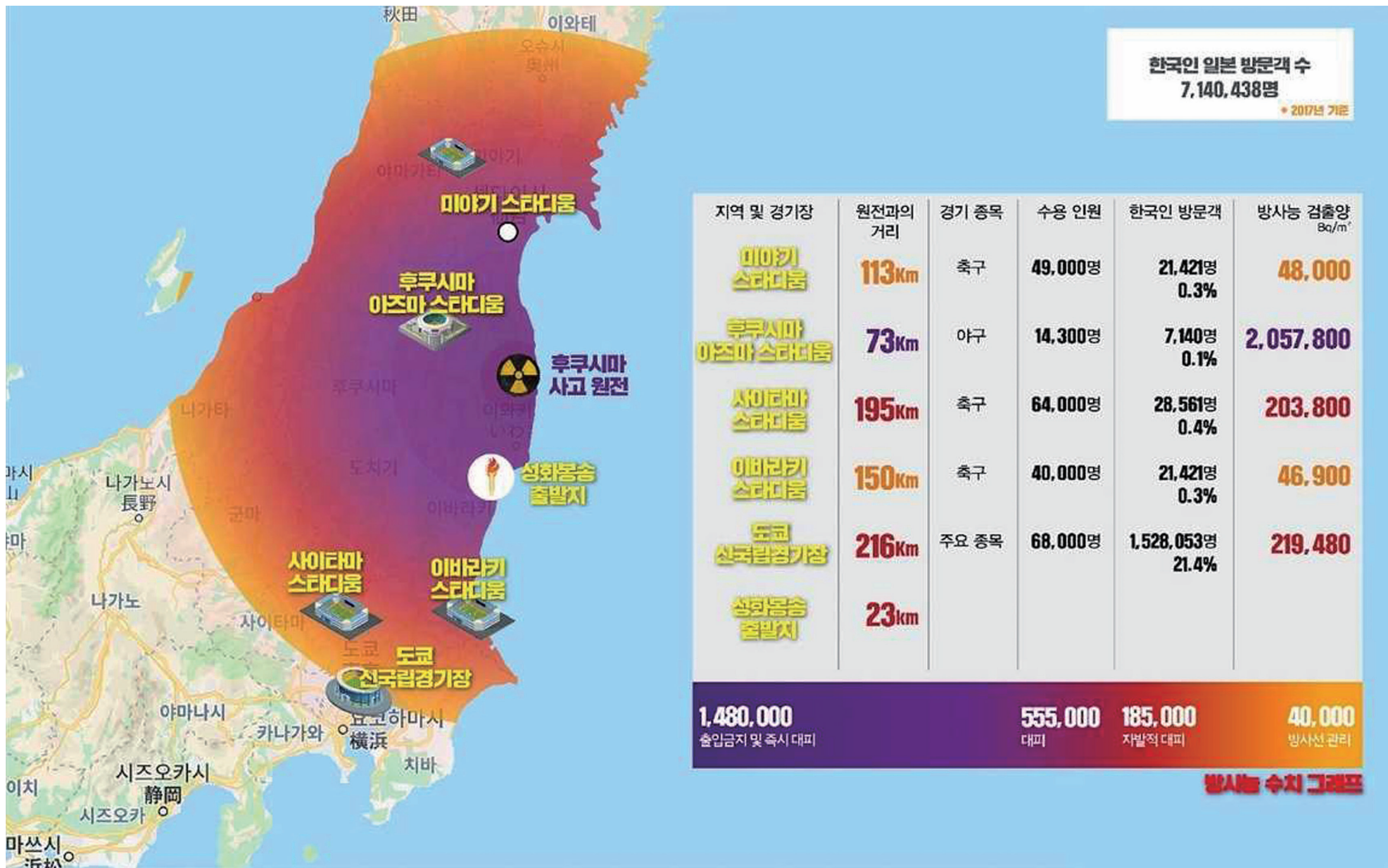


韓国与党「共に民主党」が公表した「放射能汚染地図」に関する事実関係

- ▶ 2019年9月26日、韓国与党「共に民主党」の日本経済侵略対策特別委員会が記者会見を実施し、同委員会が作成した「放射能汚染地図」を公表した上で、東京五輪の訪問者全員に放射能の影響がある旨発言。
- ▶ 同委員会側は、当該地図を日本の市民団体が公開しているデータを基に作成したとしているが、市民団体側は、「事実と著しく異なる点がある」として、9月27日に申入れを実施。
- ▶ 外務省からは、外交ルートにより、韓国政府に対して懸念の申入れを実施。



「共に民主党」の日本経済侵略対策特別委員会が作成した地図

会 場	放射能濃度 [Bq/m2]	
	「共に民主党」が公表した数値	日本の市民団体が公表している数値※
ひとめぼれスタジアム宮城	48,000	6,300 (2019年)
福島あづま球場	2,057,800	131,400 (2019年)
埼玉スタジアム	203,800	200 (2019年)
カシマサッカースタジアム	46,900	8,800 (2019年)
新国立競技場	219,480	19,100 (2019年)

※各会場に近い地点の放射能濃度を記載。